

男女共同参画ネットワーク事業【伊丹市】

個別業費	199 千円
交付金額	99 千円

地域の実情と課題

女性の労働力率は平成27年の国勢調査の時点では典型的なM字カーブになっており、20歳～64歳の女性就業率は、全国や兵庫県全体と比べて低くなっている。市内の事業者が職業生活における女性活躍等について、どのような現実的な課題を抱えているか等の現状把握と分析を実施していく必要がある。事業者が中心となり、市の男女共同参画担当、関係部門及びその他関係団体等も含めた官民連携体制を構築し、経済分野における女性活躍のため方策等の情報共有を継続的に実施していく必要がある。

事業の特徴

女性活躍を推進するための官民が一体となった連携体制を構築し、事業者における男女共同参画にかかる問題点の共有を図り、従業員や就業希望者のモチベーションアップにつなげる。また、事業者と女性個人の双方にアプローチすることにより、実践的な女性活躍やワーク・ライフ・バランス等の男女共同参画を着実に推進していく。

事業の効果

ワークショップについては、参加事業者が延べ42社にもなり、男女共同参画に関しての有意義な情報提供や活発な意見交換がなされ、当市の経済分野等における女性活躍・男女共同参画の推進が図られた。

目的・目標

学識者等をアドバイザーとして、女性活躍推進にかかる情報共有、意見交換及び事例学習のためのセミナーやワークショップ等を年3回程度実施する。ネットワークの構成団体、その他市内事業者及び市民に向けて、男女共同参画・女性活躍推進に関する講演会を開催する。令和4年度においては、各企業との初顔合わせとなり、小規模グループでの情報交換となった。そのため、令和5年度においては、グループ全体での各企業の課題の共有、議論等を活性化させていく。

連携団体

事業所、事業所関係団体

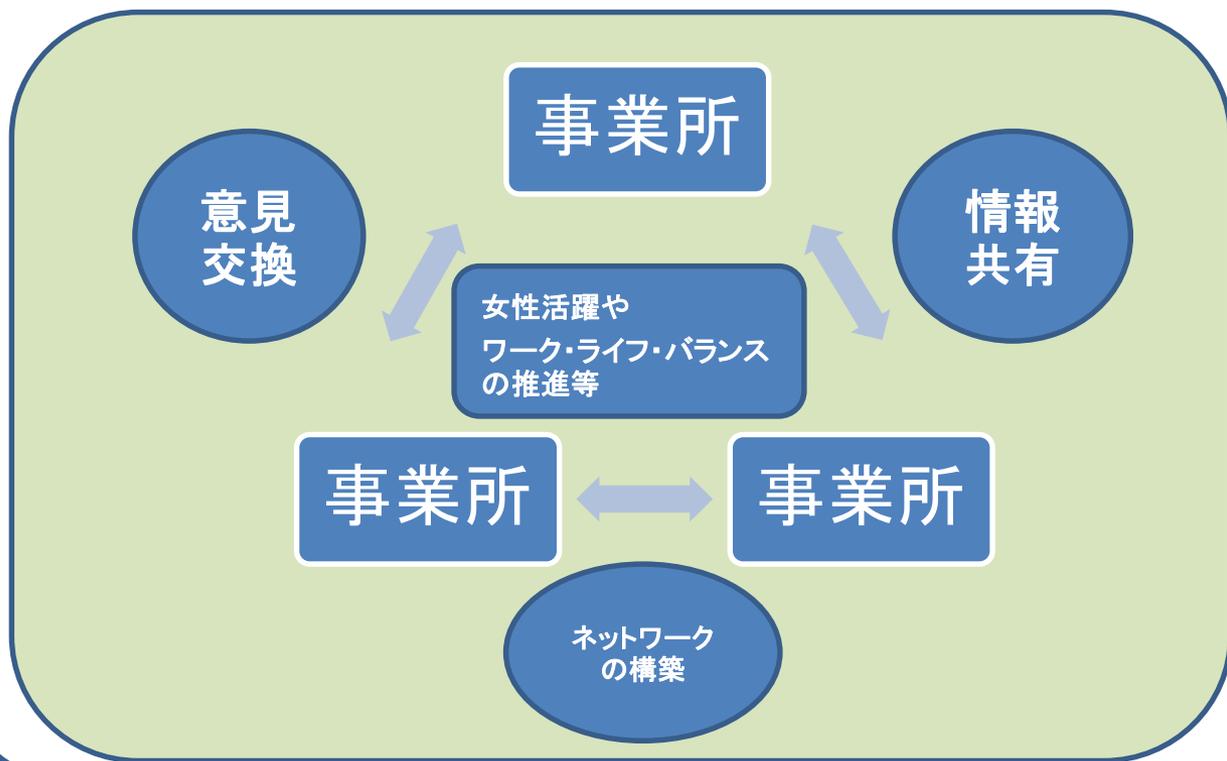
今後の課題

男女共同参画における事業者間のネットワークの構築が2年目を迎え、昨年度に比べグループ全体での各企業の課題の共有、議論等が活性化されたと考えられる。今後も継続的に行政が関わり、また新たな企業参加の誘致もしながら、当市の経済分野における女性活躍・男女共同参画の推進を進めていく必要がある。

男女共同ネットワーク事業

職場における男女共同参画推進の実践主体として重要なカギを握る事業者と共に、女性活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組むため、事業者や事業者関係団体を中心としたネットワークを設置。ネットワークの活用により、参加者相互の交流を図り、個々の主体限りでは成しがたい、女性の能力の最大限の活用、ワーク・ライフ・バランスの推進等を実施する。

業種、規模に関わらず、様々な事業者が集い、職場づくりのあり方・やり方を、他社と意見交換しながら実践していくことを目指す。



伊丹市男女共同参画推進ネットワーク 参加事業者募集!

男女共同参画推進、産活、産後、産後ケアなど、あらゆる分野での実践が求められます。この際、職場における男女共同参画推進の実践主体として活躍な力を必要とする事業者と共に、女性活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組むため、事業者や事業者関係団体を中心とした伊丹市男女共同参画推進ネットワークを、令和3年12月20日に立ち上げました。

ネットワークの活用により、参加者相互の交流を図り、個々の事業者では成しがたい、職場に求められる女性活躍、ワーク・ライフ・バランスの推進等を共に推進し合いながら実践し進めていきます。

産前、産後に関わり、様々な事業種別が揃い、職場づくりのあり方・やり方を、他社と意見交換しながら実践していくことを目指すネットワークです。業界横断やネット業界では得られない、他社の先進的な声や参画人材が活躍できる職場づくりに役立ててまいります。

主な活動	ネットワーク会議(情報・事例共有、意見交換、事業家会合、事業者向けワークショップ、事業者・市民等向け講演会など)	参加事業者の要件	ネットワークの目的に賛同し、伊丹市に事業所又は事業所を有する事業者(自営事業)
参加方法	参加申込書にお必要事項を記入の上、郵便、FAX、E-mailで、下記へご届出ください。(参加申込書は、下記ホームページをご覧ください)		
問合せ・届出先	伊丹市 市民生活部 共生推進室 男女共同参画課 〒664-8503 伊丹市千歳1-1 TEL:072-784-8146 FAX: 072-780-3519 E-mail:danisonkaku@city.itami.lg.jp 詳細はホームページ： https://www.city.itami.lg.jp/SOSKI/SHMIN/DANLIYO/27838.html		

5 持続可能な開発目標 (SDGs) 女性活躍

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDG 5は、2030年までに人権が性別で奪われない、達成すべき17の目標です。
私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を実現していきます。